



セーフティーマイタウン新城



夏の大型連休に向けた 侵入盗対策

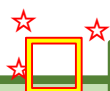


侵入を妨げる防犯対策

空き巣犯人は5分以内に侵入出来ないと7割程度が侵入を諦める。

家が留守でも、侵入に時間がかかれば周りの住民に目撃される可能性が高まります。

そのため侵入を防げる2ロックや強化ガラス・シャッター・雨戸等の防犯対策を講じ、侵入に時間がかかるような対策を行いましょう。



死角を作らない防犯対策

犯人は人目を避けようと、家と塀の間、ベランダの隅、庭の物置、生け垣等の死角を好みます。家の周りの見通しを良くし死角を作らないようにしましょう。

また、死角になってしまう箇所には、防犯カメラの設置や周囲を照らすセンサーライトや歩くと音が出る防犯砂利などの活用も効果的です。



留守を悟られない防犯対策

新聞や郵便物が溜まっていたり、夜になっても家の明かりがついていないと、犯人が留守だと悟り犯行に至ります。

留守だと悟られないように留守中は新聞を止めたり、居間などの明かりをつけたままにしておきましょう。

また、SNSなどで旅行中であることの情報(写真)を公開しないようにしましょう。



基本は戸締り。トイレやふろ場、踊り場、2階の窓もしっかり戸締りしましょう。

新城市内では夜間の店舗・事務所等を狙った侵入盗が発生しています。夜間や昼間でも留守にする時は、現金を置かないようにしましょう。

市内地区別街頭犯罪(重点罪種)の特徴

【令和4年、令和3年、7月末対比】

